

欠損補綴における対応でパーシャルデンチャーが依然多数を占める中、その対応において臨床上容易ではないケースが数多く存在するのも事実である。欠損歯列と残存歯の状態は個々により多様であり、その欠損に対応する補綴装置は多種多様であり、歯科技工士の手技によるものが依然大きいのは言うまでもない。パーシャルデンチャーを機能させる為に押えておくべき基礎知識を本講演でお伝えしたいと考えます。